

Photograph © M.ONOZUKA

2017年慶應義塾大学 新人生歓迎行事  
小林嵯峨 舞踏公演

2017年6月2日(金) 午後6時半 慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎イベントテラス

# す孵る化

Saga Kobayashi Butoh Performance

## Incubate



45年前、小林嵯峨は、『四季のための二十七晩』で土方巽とともに舞台に立ちました。

本作品「孵化する」では、生物の「孵化」そのもの、すでに腐敗し切った「蛹」、蛹化から孵化そのものに焦点を当てます。蛹はまた胎盤でもあり、そこで腐乱し産まれ得なかった生命の、それでも尚、産まれ出ようとする凄まじくも無残ではあるがまた、例えようもなく美しい相貌を追ってみたいと考えています。(小林嵯峨)

慶應義塾大学 2017年度 新入生歓迎行事

小林嵯峨舞踏公演 孵化する

2017年6月2日(金) 18:30より

慶應義塾大学日吉キャンパス来住舎イベントテラス

入場無料 事前申込み不要

223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1 東急東横線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車

Saga Kobayashi Butoh Performance **INCUBATE**

Friday 2 June 2017, 18:30 start

Keio University (Hiyoshi), RAIOSHA

4-1-1 Hiyoshi, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa 223-8521

1 min. walk from Hiyoshi station

Open to everyone. Admission free. No booking required.

**Contact** Keio University Art Center [honna] ac-butoh@adst.keio.ac.jp

小林 嵯峨 (こばやし・さが)

1946年8月30日、三重県に生まれる。1969年より土方巽に師事、燐機大踏鑑に在籍。第2次暗黒舞踏派の主力メンバーとして伝説的の舞台となった1972年「四季のための二十七晩」などの作品に出演。1975年に独立。慧星倶楽部を設立。1998年より『アウラ・ヒステリカ』をテキストとする【アウラシリーズ】を展開、身体と心の無意識領域を探り、自己の舞踏を追及する。フランス、ドイツなど海外での活動も行う一方、近年では国内における公演を重視し、その意義を見出そうとしている。2016年11月『翻案・犬の静脈に嫉妬することから』を発表。第48回(2016年度)舞踊批評家協会賞を受賞。

お問合せ | 慶應義塾大学アート・センター

108-8345 東京都港区三田2-15-45 Tel. 03-5427-1621

<http://art-c.keio.ac.jp/> ac-butoh@adst.keio.ac.jp

主催 | 慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)、慶應義塾大学アート・センター  
コーディネーター | 小菅 隼人 (慶應義塾大学理工学部 教授) 照明・音響 | 曽我 傑

